

学校目標：自ら未来を切り拓くことのできる知力、活力の育成



千代田



HP へのアクセス
はこちら

千代田中学校ホームページ

<http://www.yotsukaido.ed.jp/gakko/home/14chiyoda/top.html>

応援の力

校長 中嶋宜雅

夏休みも残りわずかとなり、生徒のみなさんは9月3日（水）、4日（木）に実施される定期テストに向け日々努力している時期かと思います。9月1日（月）から再び学校にみなさんの明るい笑顔と元気な挨拶が戻ってくることをとてもうれしく思います。この夏休み中、きっとみなさんは部活に勉強に有意義に過ごすことができたのではないのでしょうか。そして何より、大きな交通事故や水の事故などもなく無事に生徒の皆さんが登校してきてくれること願っています。

さて熱戦が繰り広げられた全国高等学校野球選手権大会、世界卓球、世界バレーなどテレビで中継していました。スポーツはいつも私たちに、元気を与えてくれます。そして選手達も「皆様の『応援』が力になりました！」と謙虚にそして感謝の気持ちをもって答えてくれます。「応援」とは本当に強い力を持っているんですね。

最強のプロゴルファー、タイガーウッズ選手。彼の強さの秘密をご存じでしょうか。それはきっとたくさんあると思いますが、特に「応援」についてお伝えします。ある大会で、ウッズが1位で全ホールを打ち終わり、2位の選手が最終ホールで同点をねらっています。このパットを外せば、ウッズの優勝が確定、決まれば同点でプレーオフ（延長戦）という緊迫した場面です。このとき、もし皆さんがウッズだったとしたら、どんな気持ちで見守るでしょうか。

なんとウッズは「頑張れ！ 決めてくれ！」と心から相手を応援する（できる）というのです。何千万円という賞金のかかった試合です。誰もがそのまま勝ちたいと思うはず。本当なのでしょう。結果は、2位の選手が見事カップインし絶好調の中で延長戦スタートです。迎え撃つウッズは追いつかれて厳しい試合になると思いきや、安定したパフォーマンスを発揮し、難なく延長戦を制して見事優勝するのです。

なぜウッズは焦ることなく延長戦に臨めたのでしょうか。同点となった二人の選手は、知力・体力・時の運、すべてが互角です。しかし最後のホールでカップインし追いついた対戦相手は、うれしさに気持ちは絶好調です。すべて互角の選手同士の延長戦ならば、絶好調の方が勝つ可能性は大です。実はウッズは、こうなることを知っています。もしウッズが「外せ」と願って追いつかれたなら「あーあ」とがっかりして、最悪の気分（絶不調）で延長戦です。敵（ライバル）であっても心から応援しているのでボールがカップに入った瞬間、入れた本人よりも喜びます。「こんなに強く、すばらしい選手と更に戦えるなんて、本当にうれしい！ 最高だ」と相手を上回る絶好調で延長戦に臨み、最終的には勝ってしまうのです。これぞ一流のアスリート。さすがとしか言葉がありません。

しかし最強ウッズも、はじめからそうできたわけではありません。心から応援できるようになるまで、ゴルフの練習と同じように、何度も何度も応援する練習したそうです。その結果、自然に心から相手を応援できるようなメンタルに成長していったのでした。

この話から学びたいことが4つあります。

- 1 応援は誰かの力になると同時に、自分の力として返ってくるということ。
- 2 対戦相手を応援するという難しいことも練習によって、自然にできるようになるということ。
- 3 運動や楽器、勉強などの技能だけでなく「考え方」も練習をすれば身につくということ。
- 4 応援はスポーツのためだけのものではなく、日常生活の中すべてに当てはまるということ。

お互いの力を押し詰め合う事ではなく、応援によってお互いの力を発揮させ合う事がスポーツの理想ならば、私たちもお互いにお互いを応援しながら生きていきたいものです。

2学期は、部活動の新人戦、合唱祭、企業訪問学習（2年）等多くの行事を予定しています。生徒も教師も切磋琢磨し、今学期も「チーム千代田中」として、学校・家庭・地域が一体となって、子どもたちの成長を支えていきたいと思っています。よろしくお願ひいたします。

〈第47回四街道市青少年健全育成推進大会〉

7月5日（土）、四街道市文化センターで第47回四街道市青少年健全育成推進大会が行われ、本校から3年4組〇〇〇〇さんが「少年の主張」に参加しました。発表の題目は「みんなが住みやすい街づくり」です。堂々としたとても素晴らしい発表でした。



みんなが住みやすい街づくり

四街道市立千代田中学校 三年 〇〇 〇〇

私は、目が見えます。耳が聞こえます。味を感じられます。いつでも行きたいところへ行くことができます。私を含め、多くの人にとって、これらは「あたりまえのこと」だと思われるでしょう。しかし、私たちにあっての「あたりまえ」が「あたりまえ」ではない人たちがこの街と一緒に暮らしています。

例えば、車いすの人にとって階段を上することは一人では難しいです。そのため、スロープや昇降機が設置されています。新しい建物については、バリアフリー法という、高齢者や障害者を含むすべての人が安全に移動・利用できる環境を整備する法律が適応されています。しかし、実際はすべての建物が適応されているわけではないため、困っている人がたくさんいます。また、最近のスーパーでは、セルフレジが導入されていますが、視覚障がいの方は果たして、タッチパネルでの操作がストレスなくできるのでしょうか。考えれば考えるほど、まだまだ、みんなが過ごしやすい環境には程遠いと思います。また、建物の設備などの環境面以外にも問題があります。それは、偏見や無知による差別です。障害のある人に対して、実際に接したことのない人や知らない人は、新聞やテレビ、ネットの噂など、自分が触れることのできる真偽が不明な情報から、イメージを作り上げていることがあるのではないのでしょうか。

便利なものがたくさんできてきている、バリアフリー化が進んでいる現代でも、まだまだ課題がたくさん存在します。誰もが住みやすい町づくりのために、まず、大切なことは、「知ること」だと考えます。どんな障害のある人がいて、どのようにサポートしてほしいのか、高齢の方の生活で不便なことは何なのか。当事者にならないとわからないことはたくさんあります。そのため、私たちが相手の立場になって考え、どのようにサポートできるのかを知り、考えていくべきです。

みなさんは「無知の知」という言葉を知っていますか。私はこのことについて考える中でこの言葉がぴったりだなと思いました。「無知の知」とは、「無知であることを知っていること」が重要であるということです。共生社会に向けて、私たちは生活のしにくさを感じている人がいることを知ることが大切です。その生きにくさを感じている人がいることを知ることができていれば、足の悪い高齢者や車いすの方にとって傾斜の急な階段は不便だろうな、耳の聞こえない人にとって、世界でさらに、手話が広がることでコミュニケーションがしやすくなるのではないかと、点字ブロックがない道では、目が見えない人はどうしているのだろうか、といういろいろなことを考えることができます。そして、まだまだこんなバリアがあるのだな、という気づきに出会えるかもしれません。建物を改装したり、点字ブロックを付けたりすることなど、私にできることではありません。しかし、様々な苦勞をしている人々が共にこの街で生活していることを知り、そのことを考えることで、少しでも、未来が変えられると思います。障害のある方、高齢者の方々だけでなく、自分と違う考えを持つ人がいる、ということを知っていれば、新しい世界が開けてくると考えます。

誰もが住みやすい町にしていけるために、相手の立場になって考えること、そして、互いに手を取り合うことをみんなで意識して、協力しながら、社会を支える一員として生きていきます。一人一人の「あたりまえ」が「あたりまえ」になる社会を目指し、私は日々、勉強していきます。

<大切な命ウィーク>

四街道市では「命の教育」の一貫として、命の大切さについて考える機会を意図的に設定し、自分の命もまわりの人の命も大切にすることを目的とした「大切な命ウィーク」を実施しています。本年度の期間は7月1日から7月18日までの期間でした。

千代田中学校の道徳での取り組みを紹介いたします。

<3-1>

<3-2>

<3-3>

<3-4>



3年生の教材名は「ハゲワシと少女」でした。本時の目標は「かけがえのない命を守るにはどうしたらどうしたらよいだろう」です。

【授業後の生徒の考え】

これから先、同じ思いをする人が少なくなるようにすることと、助けられる命を助けることが「かけがえのない命を守ること」だと思いました。

日頃から食べ物があることとか、平和に勉強できることに対して、感謝をしながら、こういう状況の所に行ったり、考えたりする機会があったら、小さなことでも助けたり、そのことを広めて、世界全体で考え直すことが大切。

一人一人の命を大切に、思いやりの気持ちをもって行動する。自分が思ったことをすぐに発言するのではなく、言われた相手が悲しまないかなどを考える。

<2-1>

<2-2>

<2-3>

<2-4>

<2-5>



2年生の教材は「国境なき医師団」でした。本時の目標は「命を大切にすることは、どういうことかを考えよう」です。

【授業後の生徒の考え】

命は1つしかないし、あきらめなかったら助かる命もあるかもしれないから、あきらめたくない。

命を大切にすることは、全員が平等にできないから難しいことだなと思った。命を大切にすることを大切にしていきたい。

多くの命を助けられた方がいいけど、やっぱり目の前の命は助けた方がいいと思った。

<1-1>



<1-2>



<1-3>



<1-4>



1年生の教材名は「いのちって何だろう」でした。本時の目標は「いのちを大切にすることはどのように生きることかを考えよう」です。

【授業後の生徒の考え】

自分のいのちを大事にし、周りの人のいのちも大事にする。1つの命だから後悔をしないようにする。

命は有限だから、1秒1秒を大切に一生懸命生きたい。死ぬ直前に後悔がなかったと思うように生きたい。どんなことでも全力でやり切って努力して生きたい。

一つしかないいのちを大事にし、人のことを思いやれる人になりたい。

ー 9月の予定ー

<スクールカウンセラーの日程について>

9月5日(金)、19日(金)10:00~16:00 北棟2階多目

最終下校 17:00

1日(月) 始業式 避難訓練 最終下校 10:45

2日(火) テスト前諸活動停止 給食・弁当なし 最終下校 12:15

3日(水) 第2回定期テスト 諸活動停止 弁当なし 最終下校 12:20

4日(木) 第2回定期テスト 諸活動停止 弁当なし 最終下校 12:20

5日(金) 給食開始 身体測定

6日(土) PTA奉仕作業 7:30-8:30 PTA運営委員会 10:00~

8日(月) テスト返却開始

9日(火) 第2回実力テスト(3年生)

15日(月) 敬老の日

19日(金) 個票配付

22日(月) 脊柱側弯二次検診 8:40-10:10

23日(火) 秋分の日

25日(木) 生徒委員会

26日(金) 特別日課(給食後下校) 不審者対応訓練

29日(月) 全校評議会

30日(火) 生徒会役員選挙

